

オーディオ実験室収載

バッハ盤を聴く(6)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(6)—

1. 始めに

前報(5)に引き続き、バッハのアナログ盤を聴き直していきます。

2. バッハのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、今回から LINN LP-12 で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンテナスタティックも加わっています。

今回は、次のレーベルを聴いてみます。

ERATO REM-1046--RE

J.S.バッハ 二つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1043

ヴァイオリン協奏曲ホ長調 BWV1042

ヴァイオリン協奏曲イ短調 BWV1041

ジャン・フランソワ・パイヤール指揮パイヤール室内管弦楽団

ERATO E-1034

J.S.バッハ 4台のチェンバロのための協奏曲イ短調 BWV1065

3台のチェンバロのための協奏曲ニ短調 BWV1063

3台のチェンバロのための協奏曲ハ長調 BWV1064

ジャン・フランソワ・パイヤール指揮パイヤール室内管弦楽団

3. バッハのアナログ盤の試聴結果

ERATO 盤は、ZANDEN のリストでは、RIAA、R、第4時定数 Mid となっています。

ヴァイオリン協奏曲は、いずれもお馴染みの曲です。RIAA、R、第4時定数 Mid で特に違和感はなく、爽やかで切れのよいヴァイオリンとアンサンブルが聴け、通奏低音も明晰です。

チェンバロのための協奏曲は、バッハが他の作曲家の作品からチェンバロ協奏曲に編曲したもののようで、4台のチェンバロのための協奏曲はヴィヴァルディの4台のヴァイオリンのための協奏曲からの編曲です。RIAA、R、第4時定数 Mid で特に違和感はなく、爽やかで切れのよいチェンバロとアンサンブルが聴け、通奏低音も明晰です。

以上のいずれも、ドイツのバロックアンサンブルのような重厚な演奏とは違った、パイヤールらしい軽やかで華やかな演奏です。

4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)の結果をトレースでき、ERATO レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上